

平成30年度 第1回 津山市総合教育会議 議事録

- 1 日 時 平成30年5月24日（木）午後3時00分～4時13分
- 2 場 所 市役所3階 庁議室
- 3 出席者 谷口市長、有本教育長、尾島委員、森委員、長江委員、寺元委員
- 4 欠席者 なし
- 5 同席者 明楽総合企画部長、絹田学校教育部長、小坂田生涯学習部長、  
森上学校教育部次長、坂元生涯学習部企画調整官、影山学校教育課長  
廣野教育総務課参事、石原学校教育課指導主査、平田政策調整室長、  
山崎政策調整室主幹
- 6 会議日程 (1) 開 会  
(2) 市長挨拶  
(3) 教育長挨拶  
(4) 自己紹介  
(5) 協 議  
ICTを活用した模擬授業について  
学校教育について  
生涯学習について  
(6) その他  
(7) 閉 会

## ◆総合企画部長

ただいまから、平成30年度第1回津山市総合教育会議を開催させていただきます。私は、本日の進行をさせていただきます津山市総合企画部の明楽と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

ここから着座にて失礼いたします。

最初に、総合教育会議についてご説明を申し上げます。この総合教育会議につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律によりまして、全ての地方公共団体に設置が義務付けられているものでございまして、開催につきましては、首長が招集することになっております。この会議は、市長部局と教育委員会という対等な執行機関同士の協議及び調整の場という位置付けになっておりまして、教育を行うための諸条件の整備、地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策について協議する場となっております。会議において調整がついた事項については、それぞれが尊重しなければならないということになっております。

法律の規定によりまして、本日の会議は、公開といたしております。報道機関の方、傍聴の方にお越しいただいておりますが、撮影につきましては、進行の妨げにならないようご配慮願います。

それでは、会議の開会にあたりまして、谷口市長からご挨拶をいただきたいと思っております。

## ◆市長

皆さん、こんにちは。

本日は、平成30年度第1回目となります総合教育会議ということでございまして、ご多忙の中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

平素より皆様方には、津山市の未来を担う子どもたちの教育、そして、社会教育や文化・スポーツ振興、本当にいろんなことにご尽力をいただいております。深く感謝申し上げます次第です。

私が市長に就任いたしまして、総合教育会議は今回が初めてということでございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、私が皆様方に教育について語れることはないと思いますが、まさに教育再生というのは、今後の市政の中で大きな課題であると認識しております。市長就任以来、津山市の教育について頑張っていきたい、前進させていきたいと思っております。そのためにも学びの環境を整えていくことが重要と考えております。

この6月議会での所信表明の中で、多様な教育機会の充実ということで、私の思いを盛り込ませていただきながら所信を申し述べさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日皆様から頂戴するご意見、ご提案を活かしながら、参考にしながら、今後の施策に反映させていきたいと考えております。そうしたことから本日は忌憚のないご意見をお伺いすることで、私自身のスキルアップにもつながるものと考えておりますので、どうぞ広い視点からのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

#### ◆総合企画部長

ありがとうございました。

続きまして、有本教育長からご挨拶を頂戴したいと思います。

#### ◆教育長

谷口市長におかれましては、大変お忙しい中、総合教育会議を主宰していただきまして、大変ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

市長部局と教育委員会が情報を共有しながら連携を強化し、本市の生涯学習、学校教育の充実発展に努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、私は、本市の学校教育の使命、目的には2つあると思っています。1つは、子どもたちが自分の将来を自分の力で切り拓いていく力を持った人材を育てること、もう一つは、ふるさと津山を愛して地域に貢献できる人材を育てる。この2つが本市の教育の大きな目的であると思っています。

その目的達成の基盤となるものが、学力であったり、体力であったり、規範意識であったり、あるいは思いやりであろうと思っています。今、その基盤の1つである学力がやや本市にとっては課題である。また、不登校、長期欠席の問題、あるいはスマホ対策、こういったことの改善が我々に課せられた課題であろうと思っています。

これらの課題を解決するためには、保護者、そして市民の皆さんと課題を共有する必要があります。そういった本市の状況について、本日の資料をお配りさせていただいております。こういった問題をしっかり共有しながら、学校と家庭と地域が連携し、本気になって子どもたちの教育環境を整え、教育再生を図っていかねばならないと思っています。

私は、本市の全ての子どもたちが笑顔で生き生きと生活できる学校を、そして先生方が元気に勤務できる学校を目指していきたいと思っています。

また、地教行法の改正が行われてもう4年になります。新しい教育委員会制度ができて4年目ということで、その目的には大きく3つあったと思います。まず1つ目は、教育分野で市長としっかり連携を強化すること。2つ目は教育委員会の責任体制の明確化。そして、3つ目は問題等が起きたときに迅速な対応ができる体制の構築。こういったことが改正の主な目的だったと思います。

こういったことも意識しながら、本日の会議が有意義なものになりますように期待をしているところです。どうぞよろしくお願いいたします。

◆総合企画部長

ありがとうございました。

それでは、ここで本日ご出席の皆様方から自己紹介をお願いしたいと思います。

長江委員から時計回りでお願いします。

(出席者 自己紹介)

◆総合企画部長

ありがとうございました。

それでは、議題へと移らせていただきます。

津山市総合教育会議運営要綱第3条の規定に基づきまして、会議の進行は市長をお願いしたいと思います。

市長、よろしくお願いいたします。

◆市長

それでは、座ったままで失礼させていただきます。

まず、(1) ICTを活用した模擬授業をお願いいたしまして、その後、(2) 学校教育について、(3) 生涯学習についての意見交換へと進めてまいりたいと思います。

それでは、模擬授業のほうをお願いします。

◆学校教育課指導主査

(模擬授業)

◆市長

ありがとうございました。

ICTを活用した模擬授業ということで、石原指導主査のほうから実際にやっていただきましたけれども、何かご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

◆教育委員

やはり授業は教師が行います。喋る順番とか、資料を見せる順番とか、授業の構成を考えなければなりませんので、今までとは違うやり方を考えなければなりません。

この機器をどうやって使いこなすか、また使いこなせるように職員の研修が必須になるような気がしました。

#### ◆学校教育課長

素晴らしい機器があっても実際に使いこなせるかどうかで成果は随分変わってくると思います。

昨年度もモデル校という形で導入した際に、しっかり公開していくことで、いい点を見つけていただく、改善点を見つけてさらに高めていくことを行っております。引き続き、導入する学校については、同じような形でしっかりと高めていきたいと思っております。

併せまして、やはり良いものを見てまねていくということも大切だと思いますので、場合によっては先進的な取組を研究しながら職員の能力を高めていきたいと思っております。

#### ◆教育委員

先生方がお互いの授業を見せ合うことが非常にいい刺激にもなりますし、校内研修をしっかりとやっていただきたいと思います。

#### ◆教育委員

子どもたちの注目を集めることが容易にできる非常に素晴らしい授業だったと思います。ただ一点、気を付けなければならないのが、非常にスムーズにできると、教える先生もどんどん先に行ってしまうことがあります。ICTはついつい先へスピードが速くなってしまいがちですが、学ぶほうの子どもたちには、早い子もいれば遅い子もいますので、子どもたちの様子を見ながらスピード感をうまく調整し、子どもたちの意見を汲み取る時間をつくってやる必要があるではないかと思えます。

それから、トラブルが必ず発生しますので、そういったときに対処しながら余裕をもって授業を続けられるような練習と、先生方だけではなかなか解決できないトラブルも発生すると思われるので、なるべく早く復旧できるようなサポート体制も必要ではないかと思えます。

#### ◆教育委員

ICT機器に頼り切りになることが心配で、やはり書くことも大切でしょうし、考えることも必要だと思うので、本当に先生方の力量が問われることになると思えます。

機械に使われるのではなくて、機械を上手に使うことで子どもたちの興味を引き出しながら考えることを教えてほしいと思えます。

#### ◆教育長

基本的には、教員は役者でなければいけないと思います。機械に頼りきりになるのではなくて、表情や話術によって子ども達を惹きつけていく、そういった役者としての先生の力量も身につけていくことが必要だと思います。

#### ◆教育委員

学校訪問した際に、実際に授業の様子を見させていただいて、今までずっと下を向いていた子どもたちの顔が上がっている様子を見させていただいて、それだけでも進歩だなと感じました。こういった新しいことを始めるときは、子どもも大人も慣れるまでが大変だと思いますが、頑張ってくださいと思います。

#### ◆市長

皆さんからICTについてご意見を頂戴いたしました。基本的には子どもの興味を引くことには効果があるが、それを使いこなさなければならないということだったと思います。

私もこのことはぜひ進めたいと思っています。ICTの環境整備にタイムラグありますと、こういった授業を経験することなく卒業してしまう子どもが出てくるおそれがありますので、そういったことに気を配っていかねばいけないと考えております。

#### ◆教育委員

ICT機器を活用することで教師のスキルアップにもつながるのではないかと思いますので、まずは使いこなすところから頑張ってくださいと思います。

#### ◆教育委員

1年目は大変だと思いますけれども、慣れてしまうと次の年からすごく楽になりますので、そこでいろんなアイデアを出しながら活用していただきたいと思います。

#### ◆市長

ありがとうございました。しっかりと活用してまいりましょう。

それでは次に(2)学校教育について、日頃皆さんがお考えのこと、あるいはこの場でお話したいことがございましたらお願いします。

#### ◆教育長

資料をお配りしておりますけれども、平成30年度学力向上等への取組ということ

で、昨年度の全国学力調査結果（質問項目）の資料でございます。これが本市の子どもたちの実態であります。

例えば、放課後を利用した補足的な学習サポートに関しては、全国と比べると14ポイントも低い結果となっています。本市の中学生の放課後の学習支援が弱いということが見て取れます。

それから、1日あたりの勉強時間も中学生は全国に比べて16.5ポイントも低い、津山の子どもたちは普段の学習時間が少ないということが見て取れます。

それから、先日の校長会でも少しお伝えしましたが、校長先生が校内の授業をどの程度見て回っているか。全国の小学校、中学校と比べると30ポイントも差があります。これは、ほぼ毎日見て回っているかという質問なので、出張に行くこともあるので毎日見えないわけで、本市の校長先生は非常にまじめに答えているのかもしれませんが、校長としては、1日1回は授業を見て回るという意識は常に持っておいてほしいというお話をしたところです。

#### ◆教育委員

落ち着いた学習環境づくりというのが一番だと思います。授業改善もそうですけれども、落ち着いていないと授業ができませんので、落ち着いた学習環境づくりをすることがまず必要なことではないかと思います。生徒指導ができるかどうかが重要だと感じています。

それでは、どうやったら落ち着いた授業ができるかと考えたときに、小学校では先生が学級のボス猿の位置をキープできるかどうかだと考えます。ボス猿というのは、力で抑えるだけではなれません、信頼を得ることが必要でございます。校長先生は学校全体のボス猿でございます。学級では、ボス猿の位置を子どもに奪われたら、これは学級崩壊につながります。学校でも学級でも先生達がどうやって児童生徒の信頼を得ていくかが、落ち着いた学習環境づくりの重要なポイントになると思います。

#### ◆教育委員

魅力ある先生のクラスは、やはり落ち着いた学習環境になると思いますし、先ほど教育長から先生は役者にとのお話がございましたが、子どもたちを惹きつける授業を行っておられると思いますし、魅力ある先生は大切だと思います。

#### ◆教育委員

先ほど教育長が、放課後の学習支援がすごく少ないと言われました。代わりにスマホで遊んでいるのではないかという状況があると思われまます。魅力ある先生ということもあるんですが、子ども達からすると勉強が全く分からなかったら学校が面白くな

くて、学校から離れがちになって、そういう子がクラスの雰囲気乱すことにもなってしまうんですが、分からないことを上手に放課後を使って教えていくことが非常に大切だと思います。放課後に子ども達と向き合える時間が十分取れるようになることが、学校現場としては非常に大切なところではないかと思います。今、なかなか先生方が忙しくて難しいですけれども、そこを何とかサポートすることが重要なことだと思います。

#### ◆市長

ICTの活用だけではなく、魅力ある授業を行っていくためには、先生方の研修を行いながら深めていっていただくことが大切ではないかと思います。

#### ◆教育長

現在、市内の小中学校に約700人の先生がいます。20代、30代が10年前と比べて2.5倍くらい増えています。そういった若い先生たちがこれからどうやって力を付けていくか。そういったところにターゲットを絞った取組みもやっていく必要があります。

#### ◆学校教育課長

教育長が言われたように、先生方がどんどん入れ替わっています。経験未熟で不安を抱えている先生が多いというのが、津山だけではないかもしれませんが、特に津山はそういう状況にあります。

若い先生には、自分の役割を与えてまずは成功体験をさせる。そして、しっかり評価して自信を持たせていく。そういったことをやりながら育てていくことが必要だと考えています。

授業以外の学習についてですけれども、市内中学校での取組みの中には、始業前の朝7時45分から行っているケースもあります。自分も一緒にやりたいという生徒も加わって取組みの輪が広がっているようでございます。こういった取組を他の学校にもお伝えし、いいことはどんどん広げていきたいと考えています。

#### ◆教育委員

放課後の補充学習については、小学校はかなり取組みが進んでいるようですが、中学校との差は何か理由があるのでしょうか。

#### ◆学校教育課長

小学校は、県の事業で放課後学習支援員という制度がございます。中学校では、放

課後に部活動がございますので、このあたりとの調整をどうするかという悩みがございます。

#### ◆教育委員

学力テストの問題を見せていただきましたが、かなり集中力がないと解けない問題になっていました。大人でも全部解こうと思ったら大変だと思います。基礎学力を身につけることも大切ですが、最近スポーツなど様々な分野で言われているように集中力を養うことも大切なような気がいたします。

#### ◆教育委員

最近の問題は以前と違って、かなり長い文章を読み込んでいかないと何が聞かれているかすら分からないという状況でございます。普段からあまり文字を読んでいない子にとっては、ちんぷんかんぷんに感じてしまいます。読むことに関してしっかりした素地を持っていれば読みこなすことができるだろうし、そうでない子にとっては難しい問題になってしまいますので、読解力をつけてやる必要があるのではないかと思います。そういった意味でも、集中力は大事な能力だと感じました。

それからもう一点、教員の評価ということで、現場の先生方をどう評価していくかということですが、現場の先生方は非常に苦労しながら日々頑張っておられます。そうした頑張っておられるところやその成果を評価してあげることが効果的だと思います。先生を褒めてあげる機会をつくることも必要だと思います。

#### ◆教育長

授業のやり方を以前とは変えなければいけない。なぜなら、社会が求めている人材が変わっているからです。漢字の読み書き、珠算ができる人材が求められた時代から、今は自ら考えて行動する力であるとか、コミュニケーション能力が高い人材が求められています。そういったことを先生方にしっかり理解していただいて、授業を変えていこうという取組を考えていかなければなりません。

#### ◆市長

学力テストを克服するには読解力が必要ということで、基礎学力だけではなくそういった方向も強化していく取り組みも必要かなと思います。

それから、どこの組織でも同じことですが、人事評価においては、頑張っている人が正当な評価をされることが重要であると私も同様の考えでございます。

それでは、3番目に生涯学習についてということで、進めていきたいと思います。

#### ◆教育委員

津山市には充実した公民館がたくさんあります。私も教職のときに地域の公民館長から学校と何か連携してできないだろうかと相談を受けたことがございます。

院庄公民館では、夏休みの期間ですが、地域人たちの協力によって、子どもたちに勉強を教えたり、一緒に料理をつくったりという取組をされています。こういった取組が全市に広がっていけばなと思います。地域の大人が地域の子どもたちに関心を持って守り育てるこうした活動が、子どもたちの居場所づくりにつながりますし、とても大事なことではないかと思います。

#### ◆生涯学習部長

今、公民館でも地域ぐるみで子どもたちを育てるということで、放課後であるとか、休日、夏休みを使って子どもたちの居場所づくりに取り組んでいます。

それぞれの公民館によって、様々な取組をされていますが、先ほどご紹介をいただいた院庄公民館の取組については情報共有をしていきたいと思います。

#### ◆教育委員

院庄公民館のすごいところは、地域の方々だけではなく、学校も協力しているところや、地域の人も充て職ではなくて、自主的に手伝いに出てきて食事をつくったりしているところですよ。地域によってできることは違うと思いますので、地域でできる取組みを考えてもらえたらと思います。

#### ◆教育長

第一義的には家庭教育は保護者が責任を持って行うべきものですが、家庭的にはそれが十分にできない家庭もありますので、地域の方々による公民館活動によって子どもたちの居場所があるという環境が必要であると思います。

#### ◆教育委員

地域の子どもは地域が育てるという思いが地域の中に芽生えると児童生徒の問題行動も少なくなるような気がします。

#### ◆教育委員

まちの中心部に核になる場所がない。空き店舗がいっぱいありますし、三世代が集まれるような、子どもたちの居場所になるようなものがあればと思います。町内会長も頑張っておられますが、トータルにコーディネートしてくださるような人材がいればもう少しまちの中も活性化するのではないかと思います。

#### ◆教育委員

公民館の活動は素晴らしいことをされていると思いますが、公民館活動されている方の年代は間が空いてしまっていて、お父さんお母さんとしての立場はあっても、働き世代としての関わる機会が非常に少ない。こうした働き世代の人たちを教育の場にどんどん関わってもらうことがこれからの課題ではないかと思います。あらゆる場面で高齢化が進んでいて、引き継ぐ人がいないという問題が起きていますので、働き盛りの人が参加しやすい環境づくりが必要だと思います。

これから小学校ではプログラミングの授業も入ってきますので、プログラミングを教える教室のようなものがこれからは大切になってくるだろうと考えています。プログラミングを教えられる大人といえば、ちょうど今、働き盛りの大人たちであったりします。そうやって適性のある子たちをぐっと伸ばしてやるような仕組みが津山市にも必要ではないかと思います。民間の中には少し動きがあるようですけども、そのような形が後押しできれば今までとは少し変わった子どもたちの学びの場が整うのではないかと思います。

#### ◆市長

院庄公民館のように素晴らしい事例がございますので、一つのヒントといたしまして、公民館と地域をコーディネートできるような人材がいなくなかなか難しいことではございますが、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。

#### ◆教育委員

スポーツを通じて子どもたちの運動能力を高めていってやるのが子どもたちの幸せにつながるのではないかという思いがします。

美作大学の津田先生がリズムジャンプということで日本全国を飛び回っています。小学校の体育の授業は非常にたくさんの種目がございますので、担任の先生一人で全てを上手に教えることはできません。そこで、大学の先生や学生に指導してもらうことができないか。全校に広げることは難しいでしょうけれども、大学と小学校のコラボ、スポーツに限らずですが、少しずつできればいいことだと思います。

#### ◆学校教育部長

リズムジャンプについては、先日も、東京の葛飾区から視察に見えられたところでございまして、本市としてもリズムジャンプのまちということで全国に向けて発信していきたいと考えております。

◆市長

生涯学習という分野においても、大学と小学校、高専と小学校という連携は非常にいいことですので進めて行ければと思います。

さて、そろそろ予定のお時間がまいりました。

本日は、教育委員の皆様にはお忙しいところ誠にありがとうございました。学校教育も生涯学習においても、いろいろ貴重なご意見をいただきました。問題はいただいた意見をどのように生かしていくかということだと思います。一度に全てということにはならないかもしれませんが、一つずつ着実にいいことは採り入れて前進させていきたいと思っておりますので、委員の皆様にもどうぞよろしく願いいたします。

それでは次回の総合教育会議に向けまして議題となりますテーマについて、何かご提案があればお聞かせいただけますでしょうか。

(提案なし)

◆市長

なければまたその時期にご相談させていただくということにさせていただきます。それでは、本日の議題は以上でございますので、ここで事務局にお返しいたします。

◆総合企画部長

ありがとうございました。

その他ということで皆様方から何かございますか。

(なし)

◆総合企画部長

本日は活発なご議論いただきまして大変有意義な会になったものと存じます。

それでは、以上をもちまして、平成30年度第1回津山市総合教育会議を閉会させていただきます。今日は本当にありがとうございました。